

# 南台科技大學 103 學年度第 1 學期課程資訊

課程名稱	進階日語會話(一)(A)
課程編碼	E0D30901
系所代碼	0E
開課班級	四技日語二甲 四技日語二乙
開課教師	神祐一
學分	1.0
時數	2
上課節次地點	一 1 2 教室 E0501
必選修	管制必修
課程概述	<p>A 組:本課程は、日本語初級～中級レベルの会話トレーニングのための授業です。</p> <p>B 組:本課程は、日本語中級レベルの会話トレーニングのための授業です。</p> <p>C.D 組:本課程は、日本語中級～上級レベルの会話トレーニングのための授業です。</p>
課程目標	<p>A 組:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ごく基本的な個人的情報や家庭情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。</li> <li>●簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。</li> <li>●自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</li> </ul> <p>(JF スタンダード A2 レベル参照)</p> <p>B 組:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。</li> <li>●その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。</li> <li>●身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。</li> <li>●場目や相手に応じて、会話のモードを使い分けることができる。</li> </ul> <p>(JF スタンダード B1 レベル参照)</p> <p>C.D 組:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●長い会話や講義、テレビのニュースや時事番組、標準語の映画などが理解出来る。また、話題がある程度、身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。</li> <li>●流暢かつ自然に母語話者とやりとりを行なうことができる(話すこと)。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近なコンテキストの議論に参加し、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら、自己の意見を説明することができる。</li> <li>●自分の興味関心がある分野ならば、幅広い話題について、明確で詳細な説明を行なうことができる。</li> <li>●場目や相手に応じて、会話のモードを使い分けることができる。 (JFスタンダード B2 レベル参照)</li> </ul>
課程大綱	<p>A 組:本課程は、日本語の初級～中級レベルの会話トレーニングのための授業です。指定した文型を使って正確に質問をしたり、質問に答えられるような訓練を行うほか、買い物、レストランでの食事など、身近な場面で、定型的な言葉のやり取りを正確に行えるような訓練を行っていきます。具体的には、ロールプレイング（指定された状況・役割に従って、適切にコミュニケーションを取る練習）などを取り入れた実践形式の授業を行います。</p> <p>B 組:本課程は、日本語の中級レベルの会話トレーニングのための授業です。日常における特定の場面で、定型的な言葉のやり取りを超えた、ある程度複雑なやり取りを正確に行えるような訓練を行っていきます。具体的には、ロールプレイング（指定された状況・役割に従って、適切にコミュニケーションを取る練習）などを取り入れた実践形式の授業を行います。</p> <p>C.D 組:本課程は、日本語の中級レベルの会話トレーニングのための授業です。身近なコンテキストの議論に参加し、自分の意見を正確に表現できるような訓練を行っていきます。具体的には、ロールプレイング（指定された状況・役割に従って、適切にコミュニケーションを取る練習）やプレゼンテーション、インタビューなどを取り入れた実践形式の授業を行います。</p>
英文大綱	
教学方式	
評量方法	
指定用書	『新文化日本語初級 1』（9 課だけ）＋『新文化日本語初級 2 改訂版』
参考書籍	特定のものはありません。授業時に、適宜、配布します。
先修科目	<p>A 組:日本語能力試験 N5～4</p> <p>B 組:日本語能力試験 N4～3</p> <p>C.D 組:日本語能力試験 N3～2</p>
教學資源	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業は全て日本語で行ないます。</li> <li>●私語（授業に関係のないおしゃべり）は禁止、あと、授業開始時には自分の席に座っておくようにして下さい。</li> <li>●必ずノートを用意し、授業内容をノートに書くようにして下さい。</li> <li>●毎回必ず、辞書を持って来てください（電子辞書も可）。</li> <li>●平時点は主に「出席時間数」をもとにして算出するので、欠席や遅刻が</li> </ul>

	<p>多くなり過ぎないように注意して下さい。なお、平常点を計算する際、基本的に、私的な理由による休み（「病」や「事」等）を「出席」扱いにすることはしません。</p> <p>●どのような理由であっても、みなさんが授業を休んだ場合、私は、「欠席」として大学の出欠簿（缺曠記録）に登録します。「公暇」「病暇」などの申請は、各自、自分で行なって下さい。</p>
全程外語授課	1
授課語言 1	日語
授課語言 2	
輔導考照 1	
輔導考照 2	